第28回新型コロナウイルス感染症対策本部会議要旨(速報)

○実施日時/令和3年1月12日 9時30分~10時00分

○発言要旨

議事	発言
次第1「本市の医療体制について」	※ 感染状況の評価、国の動き等について、資料に基づき岡部健康安全研究所 長から説明を行った。
	【岡部所長】
	・全国の状況は、首都圏を中心に急増している。
	・年末年始の状況が積み重なって増えているのか、実際に増え方が急増している。
	のか、実際は発症日をちゃんと見て、状況を見なければいけない。
	・急増に対して、首都圏の知事等の要望もあり緊急事態宣言となった。
	・緊急事態宣言を発するときの、手法については議論もあったが、全体への影響
	などを考えるとフォーカスを絞った方がいいだろうということになった。
	・通常の生活を行いながらピンポイントで行うというものである。効果について
	は2~3週間たった時に次のステップを検討する必要がある。
	【本部長】
	・宣言が出てから2週間後くらいにモニタリングを行ってということか。
	【岡部所長】
	・今の発表の数字は、陽性判明日をもとにした数です。一方、宣言後10日から
	2週間ぐらいたたないと分からないが、発症日ベースのデータを確認しない
	と真の意味での動きは見えない。
	【本部長】
	・定期的にまとめている、本市の発生日別の表はまだとりまとまってないという
	ことですか。
	【岡部所長】
	・はい。
次第2「ワクチンの接種体制」	※ 資料に基づき、健康福祉局から説明を行った。
	【本部長】
	・ワクチン接種について岡部所長から何かありますでしょうか。
	【岡部所長】
	・訓練については全国的に初めての取組かと思われます。ただ、川崎市については過去に新型インフルエンザのパンデミックワクチンの接種訓練をこれま
	でも重ねておりますので、決して初めての取組ではない。ただ、いろいろな
	ところで、スムーズにいかないこともあると思いますが、それを見つけるの
	が訓練の目的なので、実際に行う際に生じる課題を一つでも解消できること
	に期待をしたい。
	【坂元医務監】
	・このワクチンは-70℃による保管等、非常に取扱いの難しいワクチンであ
	り、おそらくどの自治体もどのように取り扱っていいかわからないと思われ

る。

・本訓練は、ワクチンを実際にどのように取り扱えばいいか、厚生労働省、川崎市、ファイザーと川崎市の会場により詳細な訓練を行い、ビデオ撮影を行うことで、全国の自治体に対して厚生労働省から配布し、各自治体がワクチンの接種を円滑に行えるよう、川崎市として協力していくものです。

【本部長】

・今回の訓練を行って、その知見を私たちの中でしっかりと共有し、準備をしっかりと行っていきたいと思います。

その他

【病院局】

- ・市立三病院の状況について、資料はないが報告をしたい。
- ・川崎病院では重症患者・中等症患者を、井田病院、多摩病院では中等症患者を 受け入れている。
- ・3病院あわせて100床近い受入病床を確保しており、今朝の段階で80%程度の病床利用率。受入病床を少しでも増やせないかという調整をしている。
- ・現在一番懸念をしているのは、近隣の高齢者入所施設等でのクラスター発生。 クラスターが発生してしまうと、大勢の入院が見込まれるが、一回で受け入れ られる人数に限りがあるので、ぜひ関連する部署では感染防止対策の徹底を お願いしたい。

【事務局】

- ・現在各施設に時間短縮をお願いしているが、その状況一覧を取りまとめた。
- ・各施設については施設のホームページなどでご確認いただきたいが、大半の施 設が要請に応じているという状況。

【本部長】

- ・施設の時間短縮について、20時まで使えるととらえるのではなく、積極的に 人の流れを止めるため、不要不急の外出は控えていた開くことが大前提なの で、今予約が入っているものを、キャンセル料はかからないので、まず取りや めるという選択を促していくのが大事かなと思っています。
- ・20時までというのは捉え方によってずいぶん違う。基本的には不要不急の外 出を避けてください。その場合にはキャンセル料もいただかないし、支払い済 みの利用料も返却しますというものですので、各施設で促しをお願いします。
- ・一方で、高齢者が時間を選び、密にならない状況で家の周りを散歩して健康維持をしていただくことも大事なので、そこはちゃんと伝えていかないといけないなと思います。